

株主通信vol.4

2017年3月期

CLICK REPORT 2017

2016.4.1 ▶ 2017.3.31



中長期目標の実現に向けて 成長を加速

代表執行役社長

鬼頭 弘泰

「強いものをより強くする」の方針のもと、 事業別戦略を推進

当期の連結業績は、主力商品の店頭FXにとって厳しい収益環境となり、同収益の減少が影響し、前期比で減収減益となりましたが、現在、ビッグデータを活用した収益率向上施策を進めるなど、収益基盤の強化に全力で取り組んでいます。

当社グループは引き続き、「強いものをより強くする」の方針のもと、国内事業は、店頭FX取引高シェアと収益のさらなる拡大、CFDによる新たな収益の柱の確立、株式売買代金の第3位達成を目指し、サービスの拡充と商品力強化に取り組んでいます。海外事業は、2016年11月、金融サービスの需要拡大が見込まれるタイ王国に子会社を設立し、今秋のネット証券事業の開始に向けて、システム開発や体制構築など、着々と準備を進めています。既存事業に加え、新ネット銀行事業や仮想通貨事業など、システム開発の強みを生かせる新たな事業領域へ展開していくことで、持続的な成長を実現します。

また、当社は、経営・事業運営の効率化と海外事業の推進を目的として、2017年度より決算期を3月31日から12月31日に変更しました。2017年10月1日には社名を「GMOフィナンシャルホールディングス株式会社」へと変更し、新たな事業領域との連携をさらに強化してまいります。今後も、テクノロジーの活用により、インターネット金融サービスにおける新たな価値創造に邁進していきます。株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

決算ダイジェスト (2016年4月1日～2017年3月31日)

▼当期決算のポイント

店頭FX収益等の減少により、減収減益

当 期			
営業収益		営業利益	
26,196	百万円	9,014	百万円
(前期比 △9.7%)		(前期比 △15.0%)	
経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
8,928	百万円	6,159	百万円
(前期比 △15.5%)		(前期比 △4.6%)	

当期業績レビュー

前期実績を下回ったものの、足元は回復基調

主力商品の店頭FXにおいては、英国のEU離脱を問う国民投票や米国大統領選などの影響により、総じてボラティリティの高い状況が継続し、当期の当社グループ(国内)の取引数量は前期比で増加、また、2017年3月末の預り証拠金残高は1,384億円(2016年3月末1,328億円)、同FX口座数は64.9万口座(同60.4万口座)と顧客基盤はさらに拡大しました。

一方、英国国民投票後のカバーコストの増加や米国大統領選以降の取引量全体に占めるドル円比率の上昇、収益性の低下等によって店頭FX収益が減少し、トレーディング損益は前期比で9.3%の減収となりました。また、株式における個人の売買低調などを受けて、受入手数料(前期比11.7%減)金融収益(同16.0%減)が減収となり、当期の連結業績は減収減益の着地となりました。なお、2017年3月以降の営業収益は、回復基調で推移しています。

今後の展望

預り資産拡大に向けた取り組み

当社グループは、預り資産拡大施策の一環として、より幅広いお客様層のニーズに応えるため、商品・サービスの拡充を図っています。昨年10月に開始した「貸株サービス」、貸付型クラウドファンディング「maneo」に加えて、2017年3月には、少額から積立可能な投資信託の取り扱いを開始しました。

今後は、GMOインターネットグループとあおぞら銀行グループとで準備を進める新ネット銀行(来春開業予定)との銀証連携により、顧客基盤拡大につなげていく考えです。

2017年3月期の取り組み

貸株サービス

2016年10月下旬開始

貸付型 クラウドファンディング maneo

2016年10月下旬開始

投資信託

2017年3月下旬開始

これからの取り組み



あおぞら銀行



あおぞら信託銀行



GMO INTERNET

GMOクリックHD

モバイルファースト

新ネット銀行 2018年春に開業予定

FX・CFD強化に向けた取り組み

FXは、ビッグデータ解析基盤を構築し、分析の高度化により収益率向上を図るとともに、取引ツールのユーザビリティをより高めていくことで顧客取引を従来以上に活性化させていきます。機会があれば、さらなる強みの確保につながるM&Aも視野に入れ、引き続き取引高シェアの拡大に努めていきます。

CFDについては、取扱銘柄の追加や新取引ツールの投入などによりサービス利便性を向上させ、収益拡大を目指します。

新しい事業領域における取り組み

当社は、2016年10月、GMOインターネットグループにおいて仮想通貨の交換および取引事業を担うGMO Wallet株式会社(現GMO-Z.comコイン株式会社)への資本参加(出資比率35%)を通じて、新しい事業への取り組みを開始しました。

Z.com コイン by GMO

同社は、5月31日より、仮想通貨(ビットコイン)のFX・売買が行えるサービス「Z.comコイン byGMO」を正式に開始しました。今後の展開にご期待ください。

四半期業績の推移

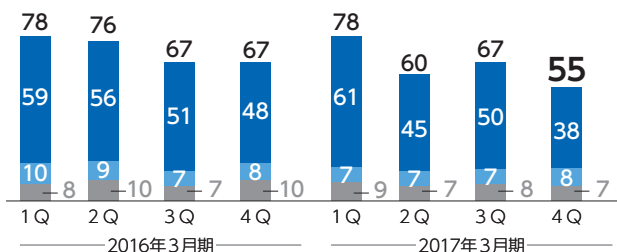
営業収益

■ トレーディング損益(店頭F X、C F D、外為オプション等)

■ 金融収益(信用取引等)

■ 受入手数料(株式、先物・オプション、取引所F X等)

(億円)

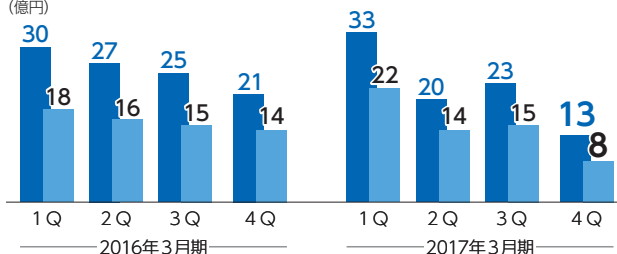


営業利益／親会社株主に帰属する四半期純利益

■ 営業利益

■ 親会社株主に帰属する四半期純利益

(億円)



株主還元方針と配当の状況

株主の皆様への利益還元については、**連結配当性向50%を目標**に掲げ、四半期ごとの継続的かつ安定的な配当実施を基本方針としています。本方針のもと2017年3月期の期末配当は1株当たり3円64銭とさせていただきました。これにより年間配当は同26円17銭、連結配当性向は50.0%となりました。

(単位:円)	1Q	2Q	3Q	4Q
2016年3月期	6.38	5.60	5.34	5.00
2017年3月期	9.70	6.15	6.68	3.64

ホームページのご案内



<https://www.gmo-click.com/>

月次開示情報や決算説明資料、各種開示資料等、タイムリーな情報提供に努めています。ぜひ、ご覧ください。

会社情報

(2017年3月31日現在)

会社概要

商 号	GMOクリックホールディングス株式会社※ (GMO CLICK Holdings, Inc.)
本店所在地	〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町20-1 渋谷インフォスター
代 表 者	代表執行役会長 高島 秀行 代表執行役社長 鬼頭 弘泰
事 業 内 容	金融商品取引業等を行うグループ会社の経営管理 ならびにこれに附帯する業務
設 立	2012年1月4日
資 本 金	545百万円
従 業 員 数	277名(連結)

株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQスタンダード		
証 券 コー ド	7177	上 場 日	2015年4月1日
事 業 年 度	1月1日～12月31日	定時株主総会	毎年3月
定時株主総会基準日	12月31日	1単元の株式数	100株
剰余金の配当基準日	3月31日、6月30日、9月30日、12月31日		
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 TEL:0120-232-711(東京)/0120-094-777(大阪) 受付時間:土・日・祝祭日等を除く平日9:00～17:00		
各種事務手続き	株式に係る各種事務手続きの詳細につきましては、下記の三菱UFJ信託銀行株式会社のホームページをご参照ください。 http://www.tr.mufg.jp/daikou/ なお、証券会社の口座で株式を保有されている株主様の住所変更、配当金受取方法のご指定等のお手続きについては、お取引の証券会社へご連絡ください。		
公 告 の 方 法	電子公告 公告URL: https://www.gmo-click.com/ ※ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。		

※2017年10月1日付で社名をGMOフィナンシャルホールディングス株式会社に変更予定です。